

漂流・漂着ゴミに係る国内削減方策モデル調査

福井県地域検討会報告書(案)

資料編

目 次

資料編

1. 調査の概要	1
1.1 地点別・季節別の変化(量)	1
1.2 地点ごとの集計結果	5
(1) 地点1	5
(2) 地点2	8
(3) 地点3	11
(4) 地点4	14
(5) 地点5	17
(6) 地点6	20
1.3 他のモデル地域との比較	23
1.4 モデル地域における比重	26
1.5 分類結果(中分類)	27
1.5.1 福井県坂井市地域	27
1.6 分類結果(小分類)	43
1.6.1 福井県坂井市地域	43
2. 観光資源価値向上の検討に係る調査	89
2.1 アンケート票(オンサイト)	89
2.2 アンケート票(オフサイト)	98
2.3 アンケート調査結果概要	111
3. 九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ開催	128
3.1 議事概要	128
3.2 最上川フォーラムヒアリング結果	132
4. 地域検討会の実施	135

Q4. 今回の沖縄旅行（石垣島訪問を含む）でご利用の交通についてお尋ねします。

詳細にお聞きしているのは、旅行にかかった費用を把握するためです。ご協力のほどよろしくお願いたします。

Q4-1 自宅からご出発空港までの主な交通手段をひとつお答えください。

1. 公共交通機関（電車、バスなど）
2. 自家用車
3. タクシー
4. その他（具体的に： _____）

Q4-2 旅行のご出発時にご利用の空港名をお答えください。

（乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。）

1. 羽田空港
2. 中部国際空港
3. 関西国際空港
4. 伊丹空港
5. 神戸空港
6. 福岡空港
7. 鹿児島空港
8. その他（具体的に： _____ 空港）

Q4-3 沖縄旅行（石垣島を含む）全体のおよその往復交通費をお答えください。下記 1、2 のどちらかに をしてご回答ください。

1. 個人手配である 約 _____ 円（宿泊費・食事代などを除く）
2. パックツアーを利用した 約 _____ 円（宿泊費などを含むツアー総額をご記入ください）

Q5. 石垣島への訪問時の同行者はあなたを含めて何人ですか。

（団体ツアーの場合、あなた又は同行者の方が申し込んだ人数をご記入ください。）

_____ 人

Q6. 今までの訪問を含めて、石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？

1. 不快に思うほど非常に多く見かけたことがある
2. 気になる程度に多く見かけたことがある
3. 見かけたことがあるが、少なかった、又は、あまり気にならなかった
4. 見かけたことがない/いつもきれいだった

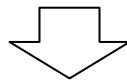
B. 以下の石垣島の地図及び海岸の写真をご覧ください。

石垣島では、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

【写真A】及び【写真B】をご覧ください、以下の質問にご回答ください。



【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態



【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態



Q7. 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う
2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う
3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う
4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない

Q8. もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、Q1 及び Q3 でご回答いただいた現状より増やしてもよいと思いますか？

1. 訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい Q9-1 と Q9-2 にご回答ください
2. 訪れる頻度は増やしてもよい Q9-1 にご回答後 C へお進みください
3. 滞在日数は増やしてもよい Q9-2 にご回答後 C へお進みください
4. 訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない C へお進みください

Q9-1. (Q8 で 1. 又は 2. にお答えくださった方) その場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？ (Q1 の回答と比較してお答えください)

1. 数年に 1 回の頻度 (___ 年に 1 回) 年数をご記入ください
2. 1 年に数回の頻度 (1 年に ___ 回) 回数をご記入ください

Q9-2. (Q8 で 1. 又は 3. にお答えくださった方) 1 回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？ (Q3 の回答に基づいてお答えください)

1. 1 日増える
2. 2 日増える
3. 3 日増える
4. 4 日増える
5. 5 日増える
6. 6 日増える
7. 一週間以上増える (具体的に : ___ 日)

C へお進みください

C. 近年、石垣島だけでなく日本各地の海岸に多くのゴミが漂着しています。これに関する以下の質問について、当てはまる番号に丸を付けてください。

Q10. あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

1. TV、雑誌、新聞等の報道から知っている
2. 学校の授業等で聞いて、知っている
3. 友人、知人から聞いて、知っている
4. 自分で実際に見た経験から知っている
5. その他（具体的に：_____）の理由で知っている
6. 知らなかった Dへお進みください

Q11へお進みください

Q11. (Q10で「知っている」とお答えくださった方) 漂着ゴミは問題だと思いますか？

1. 全く問題ではない
2. あまり問題ではない
3. 問題である
4. 非常に問題である
5. どちらでもない

Q12へお進みください

Q13へお進みください

Dへお進みください

Q12. Q11で漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

1. 見たことがないから
2. 生活に支障はないから
3. 放っておけばまた海に流れ出ていくから
4. 自分が捨てたものではないから
5. 誰かが拾うから
6. その他（具体的に：_____）

Dへお進みください

Q13. Q11で「非常に問題である」又は「問題である」とお答えくださった方にお伺いします。

Q13-1. そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

1. 海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかと思うから
2. 実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから
3. 水質が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
4. 景観が悪化するおそれがあるのではないかと思うから
5. 水辺の動植物に影響を与えるのではないかと思うから
6. ゴミの回収・処分に多くの手間と費用がかかるのではないかと思うから
7. その他（具体的に：_____）

Q13-2. 海岸の清掃活動に参加したいと思いますか？

1. 是非参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない

D. 最後に、ご回答者ご自身のことについてお尋ねします。

正確な調査のために必要なものですので、ご協力お願いいたします。

また、本アンケートでご回答いただいた内容は、本調査の目的以外には使用いたしません。

性別

1. 男
2. 女

年齢

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

ご職業

1. 会社員
2. 公務員
3. 自営業
4. 学生
5. 専業主婦
6. パート・アルバイト
7. 無職（退職も含む）
8. その他

お住まい

_____ 都道 _____ 市区
_____ 府県 _____ 町村

差し支えなければ、およその年収額（年金・税金を含む）を教えてください。

1. 200万円未満
2. 200～500万円未満
3. 500～1,000万円未満
4. 1,000～1,500万円未満
5. 1,500万円以上

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2.2 アンケート票（オフサイト）

石垣島の漂着ゴミに関するアンケート（オフサイト用）

環境省では、2007年度より日本国内の7県11海岸において海岸に漂着したゴミ（漂着ゴミ）を調査し、その管理や対策の方法を検討しています。このアンケートは、環境省による調査の一環として、日本エヌ・ユー・エス（株）が委託を受け実施しているものです。

このアンケートでご回答いただいた内容は、この調査の目的以外には使用いたしません。

設問番号が飛ぶことがあります。表示された質問に順番に答えてください。

下記の当てはまる項目の横の にチェックを入れてください。

Q1. 石垣島を観光目的で訪れたことはありますか？

1. ある Q2へ
2. ない Q9へ

Q2～Q8は、Q1で「ある」とお答えくださった方にお伺いします。

Q2. あなたは、観光目的としてどのくらいの頻度で石垣島に訪れていますか？（出張等は除いてください）

後で訪問頻度に関する質問が再度ありますので、ここでの回答を覚えておいてください。

1. 今までに一度だけ
2. 数年に1回の頻度（___年に1回） **年数をご記入ください**
3. 1年に数回の頻度（1年に___回） **回数をご記入ください**

Q3. これまでの来訪を含め、あなたが石垣島へ訪問する主な目的はなんですか？（いくつでも）

1. 海水浴
2. 海水浴以外のマリレジャー
3. 自然や景観を楽しむため
4. キャンプ
5. イベント参加
6. 保養・休養
7. その他（具体的に：_____）

Q4. 一度の訪問につき平均してどのくらいの期間滞在しますか？

- ・ 石垣島に()日間
(石垣島以外での滞在日数は除いてご回答ください)
 - ・ 沖縄旅行全体として()日間
(石垣島のみの訪問の場合は上記と同じ日数をご記入ください)
- 石垣島以外の滞在先： _____

Q5. 前回の沖縄旅行(石垣島訪問を含む)の際にご利用の交通についてお尋ねします。

詳細にお聞きしているのは、旅行にかかった費用を把握するためです。ご協力のほどよろしくお願いたします。

Q5-1 自宅からご出発空港(船をご利用の方は港)までの主な交通手段をひとつお答えください。

1. 公共交通機関(電車、バスなど)
2. 自家用車
3. タクシー
4. その他(具体的に： _____)

Q5-2 前回の沖縄旅行(石垣島を含む)の出発時にご利用の空港名をお答えください。

(乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。)

船をご利用の方は、「8.その他」を選択の上、港名をご記入ください。

1. 羽田空港
2. 中部国際空港
3. 関西空港
4. 伊丹空港
5. 神戸空港
6. 福岡空港
7. 鹿児島空港
8. その他(具体的に： _____ 空港)

Q5-3 前回の沖縄旅行(石垣島を含む)全体の往復交通費をお答えください。

おおよその金額で結構ですので、下記のどちらかを選択してご回答ください。

1. 個人手配である 約 _____ 円 (宿泊費・食事代などを除く)
2. パックツアーを利用した 約 _____ 円 (宿泊費などを含むツアー総額をご記入ください)

Q6. 前回の石垣島への訪問時の同行者はあなたを含めて何人ですか。

(団体ツアーの場合、あなた又は同行者の方が申し込んだ人数をご記入ください)

_____ 人

Q7. 石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？

1. 不快に思うほど非常に多く見かけたことがある
2. 気になる程度に多く見かけたことがある

3. 見かけたことがあるが、少なかった、又は、あまり気にならなかった
4. 見かけたことがない/いつもきれいだった

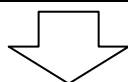
Q8. 以下の石垣島の地図及び海岸の写真をご覧ください。

石垣島には、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

【写真A】及び【写真B】をご覧ください、以下の質問にご回答ください。



【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態



【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態



Q8-1 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う
2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う
3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う
4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない

Q8-2 もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、Q2 及び Q4 でご回答いただいた現状より増やしてもよいと思いますか？

1. 訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい *Q8-3 と Q8-4 にご回答後、Q12 へ*
2. 訪れる頻度は増やしてもよい *Q8-3 にご回答後、Q12 へ*
3. 滞在日数は増やしてもよい *Q8-4 にご回答後、Q12 へ*
4. 訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない *Q12 へお進みください*

Q8-3 Q8-2 で石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度を現状よりも増やしてもよいとお答えくださった方にお尋ねします。

その場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？

Q2 でご回答いただいた現状の訪問頻度と比較してお答えください。

1. 数年に 1 回の頻度（ ___年に 1 回） *年数をご記入ください*
2. 1 年に数回の頻度（ 1 年に ___回） *回数をご記入ください*

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。

（写真の上に注書き）

Q8-4 Q8-2 で石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数を現状よりも増やしてもよいとお答えくださった方にお尋ねします。

その場合、1 回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？

Q4 でご回答いただいた現状の滞在日数に基づいて増える日数をお答えください。

1. 1 日増える
2. 2 日増える
3. 3 日増える
4. 4 日増える
5. 5 日増える
6. 6 日増える
7. 一週間以上増える（具体的に： ___日）

Q12 へお進みください

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。

（写真の上に注書き）

Q9～Q11 は、Q1 で「ない」とお答えくださった方にお伺いします。

Q9. 石垣島を観光で訪れてみたいと思いますか？

1. はい Q10へ
2. いいえ Q11へ

Q10. (Q9で「はい」とお答えくださった方)その場合の主な目的は何になると思われますか?
(いくつでも)

1. 海水浴
2. 海水浴以外のマリレジャー
3. 自然の景観を楽しむため
4. キャンプ
5. イベント参加
6. 保養・休養
7. その他(具体的に: _____)

Q11へ

Q11. 以下の石垣島の地図及び海岸の写真をご覧ください。

石垣島には、【地図】の赤で示すような箇所の海岸でゴミが漂着しやすいことが分かっています。そのような海岸では、適切に管理されないと【写真A】のような状態になってしまいますが、最低年一度のゴミの回収作業により、【写真B】のような状態に維持することができます。

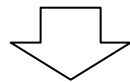
【写真A】及び【写真B】をご覧ください、以下の質問にご回答ください。

[地図] 石垣島で海岸にゴミが見られる箇所



注: 航空写真(2007年10月11日撮影)により、ゴミの漂着場所を特定。

【写真A】 石垣島の漂着ゴミが適切に管理されていない状態



【写真B】 石垣島の漂着ゴミを回収した状態



Q11-1. 石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、石垣島を訪問したいと思いますか？

- | | |
|---|---------|
| 1. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う | Q11-2 へ |
| 2. 「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う | Q12 へ |
| 3. 「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う | Q11-2 へ |
| 4. 「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない | Q12 へ |

Q11-2. (Q11-1 で 1.、2. 又は 3. にお答えくださった方)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度はどのくらいになると思いますか？

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 1. 数年に 1 回の頻度 (___ 年に 1 回) | 年数をご記入ください |
| 2. 1 年に数回の頻度 (1 年に ___ 回) | 回数をご記入ください |

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。
(写真の上に注書き)

Q11-3. (Q11-1 で 1.、2. 又は 3. にお答えくださった方)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数はどのくらいになると思いますか？

- | |
|----------------------------|
| 1. 日帰り |
| 2. 2 日間 |
| 3. 3 日間 |
| 4. 4 日間 |
| 5. 5 日間 |
| 6. 6 日間 |
| 7. 一週間以上 (具体的に : ___ 日間) |

Q12 へ

以下に前ページの写真 A・B を再度示しましたので、必要であればご参考ください。
(写真の上に注書き)

Q12～Q13は、ご回答者全員にお伺いします。

Q12. 近年、石垣島だけでなく日本各地の海岸に多くのゴミが漂着しています。これに関する以下の質問について、当てはまるものを選択してください。

Q12-1. あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

- | | |
|---|------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. TV、雑誌、新聞等の報道から知っている2. 学校の授業等で聞いて、知っている3. 友人、知人から聞いて、知っている4. 自分で実際に見た経験から知っている5. その他（具体的に：_____）の理由で知っている6. 知らない | } Q12-2へお進みください |
| | } Q13へお進みください |

Q12-2. （Q12-1で「知っている」とお答えくださった方）漂着ゴミは問題だと思いますか？

- | | |
|--|------------------------|
| <ol style="list-style-type: none">1. 全く問題ではない2. あまり問題ではない3. 問題である4. 非常に問題である5. どちらでもない | } Q12-3へお進みください |
| | } Q12-4へお進みください |
| | } Q13へお進みください |

Q12-3. Q12-2で漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 見たことがないから2. 生活に支障はないから3. 放っておけばまた海に流れ出ていくから4. 自分が捨てたものではないから5. 誰かが拾うから6. その他（具体的に：_____） |
|--|

Q13へお進みください

Q12-4. Q12-2 で「非常に問題である」又は「問題である」とお答えくださった方にお伺いします。そう思う理由は何ですか？（複数選択可）

1. 海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかとと思うから
2. 実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから
3. 水質が悪化するおそれがあるのではないかとと思うから
4. 景観が悪化するおそれがあるのではないかとと思うから
5. 水辺の動植物に影響を与えるのではないかとと思うから
6. ゴミの回収・処分に多くの手間と費用がかかるのではないかとと思うから
7. その他（具体的に：_____）

Q12-5. 海岸の清掃活動に参加したいと思いませんか？

1. 是非参加したい
2. 機会があれば参加したい
3. あまり参加したくない
4. 参加したくない
5. わからない

Q13 へお進みください

Q13 最後に、ご回答者ご自身のことについてお尋ねします。

正確な調査のために必要なものですので、ご協力お願いいたします。

また、本アンケートでご回答いただいた内容は、この調査の目的以外には利用いたしません。

ご職業

1. 会社員 2. 公務員 3. 自営業 4. 学生 5. 主婦
6. パート・アルバイト 7. 無職（退職も含む） 8. その他

現在のお住まい

都道	市
府県	町村
	区()

() 住所に「区」がある場合には、区名までご記入ください。

差し支えなければ、およその年収額（年金・税金を含む）を教えてください。

1. 200万円未満 2. 200～500万円未満 3. 500～1,000万円未満
4. 1,000～1,500万円未満 5. 1,500万円以上

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

2.3 アンケート調査結果概要

【オンサイト】

調査実施日：2008年8月23日(土)～24日(日)

場所：石垣空港、出発搭乗待合室

調査対象者：石垣島訪問後の観光客

サンプル数：217 サンプル

【オフサイト】

調査実施日：2008年9月6日(土)～7日(日)

調査対象者：調査に当たり、事前に以下の手順で調査対象者の絞込みを実施している。

性・年齢・居住地域・石垣島の訪問の有無を確認(28,000人に確認)

訪問経験あり962人、全体の約3.4%

今回の対象都府県(関東、中部、近畿地方)¹の回収目標数を人口比に応じて設定
(性・年齢についてはトータルで均等になるように設定)

で設定した回収目標数を確保できるように配信(配信数はそれぞれ213件)

サンプル数：合計266サンプル(訪問経験あり：132人、訪問経験なし：134人)

¹ 8 地方区分に従い、各地方の以下の都府県を対象とした。

関東地方：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

中部地方：新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県

近畿地方：三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

I. 回答者の属性

性別

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
男	108(49.8%)	60(45.5%)	79(59.0%)
女	109(50.2%)	72(54.5%)	55(41.0%)

年齢

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
10代	3(1.4%)	2(1.5%)	3(2.2%)
20代	51(23.5%)	26(19.7%)	29(21.7%)
30代	60(27.7%)	30(22.7%)	41(30.6%)
40代	55(25.3%)	42(31.8%)	32(23.9%)
50代	32(14.8%)	18(13.6%)	20(14.9%)
60代	12(5.5%)	10(7.6%)	7(5.2%)
70代	4(1.8%)	4(3.0%)	2(1.5%)
80代以上	0(0.0%)	0(0.0%)	0(0.0%)

職業

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
会社員	105(48.4%)	62(47.0%)	57(42.5%)
公務員	32(14.8%)	7(5.3%)	11(8.2%)
自営業	18(8.3%)	8(6.1%)	13(9.7%)
学生	9(4.1%)	3(2.3%)	9(6.7%)
専業主婦	25(11.5%)	25(18.9%)	22(16.4%)
パート・アルバイト	11(5.1%)	14(10.6%)	15(11.2%)
無職(退職も含む)	8(3.7%)	7(5.3%)	5(3.7%)
その他	9(4.1%)	6(4.5%)	2(1.5%)

住まい

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
北海道地方	1(0.5%)		
東北地方	8(3.7%)		
関東地方	104(47.9%)	60(45.5%)	55(41.0%)
中部地方	28(12.9%)	31(23.5%)	39(29.1%)
近畿地方	53(24.4%)	41(31.1%)	40(29.9%)
中国地方	6(2.8%)		
四国地方	5(2.3%)		
九州地方	10(4.6%)		
無回答	2(0.9%)		

年収額(年金・税金を含む)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
200万未満	11(5.1%)	15(11.4%)	28(20.9%)
200～500万未満	67(30.9%)	52(39.4%)	45(33.6%)
500～1000万未満	72(33.2%)	40(30.3%)	27(20.1%)
1000～1500万未満	6(2.7%)	9(6.8%)	11(8.2%)
1500万以上	11(5.1%)	4(3.0%)	4(3.0%)
無回答	50(23.0%)	12(9.1%)	19(14.2%)

II. 石垣島訪問に関する質問に対する回答

オフサイトは【経験あり】のみへの質問

あなたは、観光目的としてどのくらいの頻度で石垣島に訪れていますか？（出張等は除く）
（オンサイト Q1、オフサイト Q2）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
今までに一度だけ	132(60.8%)	92(69.7%)	
1年に0.5回未満	20(9.2%)	21(15.9%)	
1年に0.5回以上1回未満	13(6.0%)	8(6.1%)	
1年に1回以上3回未満	47(21.7%)	7(5.3%)	
1年に3回以上	5(2.3%)	4(3.0%)	

これまでの来訪を含め、あなたが石垣島へ訪問する主な目的は何ですか？（複数選択可）
（オンサイト Q2、オフサイト Q3）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
海水浴	125(57.6%)	41(31.1%)	
海水浴以外のマリレジャー	88(40.6%)	40(30.3%)	
自然や景観を楽しむため	144(66.4%)	108(81.8%)	
キャンプ	1(0.5%)	5(3.8%)	
イベント参加	1(0.5%)	5(3.8%)	
保養・休養	82(37.8%)	52(39.4%)	
その他	9(4.1%)	11(8.3%)	

（オンサイト）その他：ハネムーン、友人に会うため、周辺の島への拠点として、姪とその子供に会うため、避寒のため、両親の故郷であるため、プール、仕事

（オフサイト）その他：友人との会食、民俗調査、グルメを楽しむ、ツアーのコース、友人に会うため、結婚式、離島観光のため、買い物、祖母を訪問するため、登山

一度の訪問につき平均してどのくらいの期間滞在しますか?(オンサイト Q3、オフサイト Q4)

【石垣島】

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
日帰り	22(10.1%)	19(14.4%)	
2日間	23(10.6%)	32(24.3%)	
3日間	54(24.9%)	44(33.3%)	
4日間	70(32.3%)	16(12.1%)	
5日間	40(18.4%)	16(12.1%)	
6日間	3(1.4%)	1(0.8%)	
一週間以上	5(2.3%)	4(3.0%)	
【一週間以上の内訳】			
-オンサイト 7日間(4)、15日間(1)			
-オフサイト 7日間(2)、10日間(2)			

【沖縄】

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
日帰り	0(0.0%)	2(1.5%)	
2日間	7(3.2%)	6(4.5%)	
3日間	48(22.1%)	41(31.1%)	
4日間	81(37.3%)	37(28.0%)	
5日間	55(25.4%)	22(16.7%)	
6日間	8(3.7%)	4(3.0%)	
一週間以上	18(8.3%)	20(15.2%)	
【一週間以上の内訳】			
-オンサイト 7日間(12)、8日間(2)、10日間(1)、14日間(2)、30日間(1)			
-オフサイト 7日間(12)、8日間(3)、10日間(4)、11日間(1)			

【石垣島以外の訪問先】

-オンサイト

沖縄本島(那覇)、小浜島、与那国島、波照間島、西表島、竹富島、黒島、宮古島、鳩間島

-オフサイト

沖縄本島(那覇)、小浜島、与那国島、波照間島、西表島、竹富島、宮古島、鳩間島、パナリ島、座間味島、渡嘉敷島

沖縄旅行（石垣島訪問を含む）の際にご利用の交通についてお尋ねします。
 （オンサイト Q4、オフサイト Q5）

a) 自宅からご出発空港までの主な交通手段をひとつお答えください。
 （オンサイト Q4-1、オフサイト Q5-1）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
公共交通機関（電車、バスなど）	120(55.3%)	98(74.2%)	
自家用車	83(38.2%)	25(18.9%)	
タクシー	13(6.0%)	6(4.5%)	
その他	1(0.5%)	3(2.3%)	

（オフサイト）その他：レンタカー、港、リムジン（バス）

b) 旅行の出発時にご利用の空港名をお答えください。
 （乗り継ぎのある場合には、出発時に最初に利用された空港名をお答えください。）
 （オンサイト Q4-2、オフサイト Q5-2）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
羽田空港	112(51.6%)	71(53.8%)	
中部国際空港	16(7.4%)	15(11.4%)	
関西国際空港	22(10.1%)	27(20.5%)	
伊丹空港	10(4.6%)	7(5.3%)	
神戸空港	22(10.1%)	5(3.8%)	
福岡空港	4(1.9%)	1(0.8%)	
鹿児島空港	0(0.0%)	0(0%)	
その他	31(14.3%)	6(4.5%)	

【その他空港の内訳】

-オンサイト 高松空港(6)、小松空港(6)、仙台空港(4)、那覇空港(4)、岡山空港(4)、福島空港(3)、
 新千歳空港(1)、新潟空港(1)、熊本空港(1)、長崎空港(1)
 -オフサイト 小松空港(2)、新潟空港(1)、長崎空港(1)、富山空港(1)、名古屋空港(1)

c) 沖縄旅行（石垣島を含む）全体の**往復**交通費をお答えください。
 おおよその金額で結構ですので、下記のどちらかを選択してご回答ください。
 （オンサイト Q4-3、オフサイト Q5-3）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
個人手配	57(26.3%)	61(46.2%)	
パッケージ利用	159(73.3%)	71(53.8%)	
無回答	1(0.4%)		
【金額の内訳】 -オンサイト 個人手配の平均金額： 91,318 円(最小 30,000 円、最大 300,000 円) パッケージ利用の平均金額： 127,109 円(最小 17,000 円、最大 500,000 円) -オフサイト 個人手配の平均金額： 65,322 円(最小 15,000 円、最大 300,000 円) パッケージ利用の平均金額： 127,710 円(最小 30,000 円、最大 500,000 円)			

石垣島への訪問時の同行者は**あなたを含めて**何人ですか。
 （オンサイト Q5、オフサイト Q6）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
1人	22(10.1%)	22(16.7%)	
2人	81(37.3%)	55(41.7%)	
3人	36(16.6%)	17(12.9%)	
4人	43(19.8%)	16(12.1%)	
5人	23(10.6%)	4(3.0%)	
6人	4(1.9%)	3(2.3%)	
7人以上	8(3.7%)	15(11.3%)	
【7人以上の内訳】 -オンサイト 7人(4)、8人(3)、9人(1) -オフサイト 7人(4)、8人(2)、10人(1)、11人(1)、12人(1)、15人(1)、16人(1)、20人(1)、 25人(1)、30人(1)、50人(1)			

石垣島を訪問した際、どの程度の量のゴミを海岸で見かけたことがありますか？
 (オンサイト Q6、オフサイト Q7)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
不快に思うほど非常に多く見かけたことがある	3(1.4%)	6(4.5%)	
気になる程度に多く見かけたことがある	30(13.8%)	18(13.6%)	
見かけたことがあるが少なかった/あまり気にならなかった	141(65.0%)	81(61.4%)	
見かけたことがない/いつもきれいだっ	42(19.3%)	27(20.5%)	
無回答	1(0.5%)		

III. 漂着ゴミの回収による行動様式の変化に関する質問に対する回答

～（オフサイト）は、【経験あり】の方のみへの質問

石垣島の海岸が写真 A 又は写真 B の状態であった場合に、また訪れたいと思いますか？

（オンサイト Q7、オフサイト Q8-1）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う	32(14.7%)	30(22.7%)	
「写真 A」の状態であれば訪れたいと思う	2(0.9%)	2(1.5%)	
「写真 B」の状態であれば訪れたいと思う	180(83.0%)	94(71.2%)	
「写真 A」の状態でも「写真 B」の状態でも訪れたいとは思わない	3(1.4%)	6(4.5%)	

石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度や滞在日数を、現状より増やしてもよいと思いますか？

（オンサイト Q8、オフサイト Q8-2）

	オンサイト	オフサイト （経験あり）	オフサイト （経験なし）
N=	217	132	134
訪れる頻度も滞在日数も増やしてよい	66(30.4%)	38(28.8%)	
訪れる頻度は増やしてもよい	56(25.8%)	34(25.8%)	
滞在日数は増やしてもよい	42(19.4%)	31(23.5%)	
訪れる頻度も滞在日数も増やそうとは思わない	53(24.4%)	29(21.9%)	

オフサイト：実際に入力した頻度の値が現状と比較して増加していなかった回答者については、「頻度を増やしてもよい」とは考えていないとみなし、それぞれ該当する回答に振り替えた。

の場合、今後石垣島を訪れる頻度は現状と比べてどのくらいに増えると思いますか？
 (オンサイト Q9-1、オフサイト Q8-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	122/217	72/132	134
1年に0.5回未満	28(23.0%)	28(38.9%)	
1年に0.5回以上1回未満	23(18.8%)	18(25.0%)	
1年に1回以上3回未満	63(51.6%)	21(29.2%)	
1年に3回以上	8(6.6%)	5(6.9%)	

の場合、1回の訪問につき石垣島での滞在日数はどの程度増えると思いますか？
 (オンサイト Q9-2、オフサイト Q8-4)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	108/217	69/132	134
1日増える	41(38.0%)	40(58.0%)	
2日増える	53(49.1%)	20(29.0%)	
3日増える	9(8.3%)	9(13.0%)	
4日増える	2(1.8%)	0(0%)	
5日増える	0(0%)	0(0%)	
6日増える	0(0%)	0(0%)	
一週間以上増える	3(2.8%)	0(0%)	
【一週間以上の内訳】			
オンサイト：10日(1)、不明(2)			

石垣島を観光で訪れてみたいと思いますか？

(オフサイト Q9)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
はい			123(91.8%)
いいえ			11(8.2%)

(で「はい」と答えた方のみへの質問) その場合の主な目的は何になると思われますか？

(複数回答可)(オフサイト Q10)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
海水浴			50(40.7%)
海水浴以外のマリレジャー			36(29.3%)
自然や景観を楽しむため			99(80.5%)
キャンプ			7(5.7%)
イベント参加			2(1.6%)
保養・休養			64(52.0%)
その他			3(2.4%)

その他：写真撮影、長期滞在(1ヶ月以上)、歴史的建築物を見たり地元の食べ物を食べたり

石垣島の海岸が写真A又は写真Bの状態であった場合に、石垣島を訪問したいと思いますか？
 (オフサイト Q11-1)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
「写真A」の状態でも「写真B」の状態でも訪れたい/訪れてもよいと思う			27(20.1%)
「写真A」の状態であれば訪れたいと思う			1(0.7%)
「写真B」の状態であれば訪れたいと思う			96(71.6%)
「写真A」の状態でも「写真B」の状態でも訪れたいとは思わない			10(7.5%)

(で「写真A」でも「写真B」でも訪れたい又は「写真B」でも訪れたい、と回答した方のみへの質問)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真B」の状態が維持されたら、石垣島を訪れる頻度はどのくらいになるとと思いますか？

(オフサイト Q11-2)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
1年に0.5回未満			87(70.7%)
1年に0.5回以上1回未満			13(10.6%)
1年に1回以上3回未満			20(16.3%)
1年に3回以上			3(2.4%)

(で「写真 A」でも「写真 B」でも訪れたい又は「写真 B」でも訪れたい、と回答した方のみへの質問)もし、石垣島の漂着ゴミが管理され、「写真 B」の状態が維持されたら、石垣島での滞在日数はどのくらいになると思いますか？

(オフサイト Q11-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	123/134
日帰り			1(0.8%)
2日間			21(17.1%)
3日間			59(48.0%)
4日間			19(15.5%)
5日間			17(13.8%)
6日間			3(2.4%)
一週間以上			3(2.4%)
【一週間以上の内訳】 10日間(1)、30日間(2)			

IV. 漂着ゴミに関する意識に関する質問に対する回答

あなたは日本各地の海岸に多くのゴミが漂着していることを知っていましたか？

(オンサイト Q10、オフサイト Q12-1)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	217	132	134
TV、雑誌、新聞等の報道から知っている	140(64.5%)	86(65.2%)	89(66.4%)
学校の授業等で聞いて知っている	2(0.9%)	2(1.5%)	4(3.0%)
友人、知人から聞いて知っている	3(1.4%)	2(1.5%)	1(0.7%)
自分で実際に見た経験から知っている	53(24.4%)	28(21.2%)	12(9.0%)
その他の理由で知っている	1(0.5%)	1(0.8%)	1(0.7%)
知らなかった	18(8.3%)	13(9.8%)	27(20.1%)
【その他の理由の内訳】 -オンサイト 地元の海も汚い -オフサイト(経験あり) なんとなく -オフサイト(経験なし) インターネットの情報			

(で「知っている」と回答した方のみへの質問) 漂着ゴミは問題だとおもいますか？

(オンサイト Q11、オフサイト Q12-2)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	199/217	119/132	107/134
全く問題ではない	0(0%)	1(0.8%)	0(0%)
あまり問題ではない	1(0.5%)	0(0%)	3(2.8%)
問題である	91(45.7%)	42(35.3%)	49(45.8%)
非常に問題である	106(53.3%)	76(63.9%)	55(51.4%)
どちらでもない	1(0.5%)	0(0%)	0(0%)

(で海岸の漂着ゴミは「あまり問題ではない」又は「全く問題ではない」と回答した方のみへの質問) そう思う理由は何ですか? (複数回答可)

(オンサイト Q12、オフサイト Q12-3)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	1/217	1/132	3/134
見たことがないから	0(0%)	1(100%)	1(33.3%)
生活に支障はないから	1(100%)	0(0%)	1(33.3%)
放っておけばまた海に流れ出て行くから	0(0%)	0(0%)	0(0%)
自分が捨てたものではないから	1(100%)	0(0%)	0(0%)
誰かが拾うから	0(0%)	0(0%)	0(0%)
その他	0(0%)	0(0%)	3(100%)

(オフサイト) その他: 砂に埋もれることもあるから、まとめて拾うことができるから、自分が行ってみたいということに直接影響しないから

で海岸の漂着ゴミは「非常に問題である」又は「問題である」と回答した方のみへの質問)

a) そう思う理由は何ですか？(複数回答可)

(オンサイト Q13-1、オフサイト Q12-4)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)
N=	197/217	118/132	104/134
海岸を訪問した際にケガをするおそれがあるのではないかと思うから	100(50.8%)	76(64.4%)	56(53.8%)
実際に海岸のゴミでケガをしたことがあるから	9(4.6%)	13(11.0%)	8(7.7%)
水質が悪化するおそれがあるのではないかと思うから	141(71.6%)	85(72.0%)	69(66.3%)
景観が悪化するおそれがあるのではないかと思うから	158(80.2%)	95(80.5%)	91(87.5%)
水辺の動植物に影響を与えるのではないかと思うから	148(75.1%)	93(78.8%)	74(71.2%)
ゴミの回収・処分に手間と費用がかかるのではないかと思うから	92(46.7%)	71(60.2%)	66(63.5%)
その他	5(2.5%)	8(6.8%)	1(1.0%)
<p>【その他の内訳】</p> <p>-オンサイト</p> <ul style="list-style-type: none"> 魚や生き物が死んでしまう。 海岸マナーが悪いと思ってしまう。 外交問題、近隣諸国の不法投棄取締り。 汚染物質、化学物質。 単純に悲しいことだと思う。 <p>-オフサイト(経験あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前訪れたときは、とてもきれいな海岸だった。そのイメージのままいて欲しい。 見て不快感を催すから。 世界の国々の力関係が顕著。 マナーの問題。 注射器などの廃棄による感染症が怖いから。 既にゴミがあると、観光客が自分たちの出したゴミも置いて行くから。 ゴミを出す国への怒り。 観光で訪れる人が減少。 <p>-オフサイト(経験なし)</p> <ul style="list-style-type: none"> モラルの低下 			

b) 海岸の清掃活動に参加したいと思いますか？

(オンサイト Q13-2、オフサイト Q12-5)

	オンサイト	オフサイト (経験あり)	オフサイト (経験なし)

	N=	197/217	118/132	104/134
是非参加したい		9(4.6%)	7(5.9%)	9(8.7%)
機会があれば参加したい		143(72.6%)	84(71.2%)	61(58.7%)
あまり参加したくない		22(11.2%)	15(12.7%)	20(19.2%)
参加したくない		2(1.0%)	5(4.2%)	6(5.8%)
わからない		21(10.6%)	7(5.9%)	8(7.7%)

3. 九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ開催

3.1 議事概要

福井市で開催された九頭竜川流域ごみ問題ワークショップの開催内容として、議事概要を以下に示す。

議 事

開会 (14:00)

1. 開会

2. 冒頭挨拶・趣旨説明

田中 聡志 (環境省地球環境局環境保全対策課長)

3. 海洋ゴミの問題点：資料1

小島 あずさ (JEAN/クリーンアップ全国事務局代表)

【質疑】(特になし)

4. 漂着ゴミの削減・発生抑制に向けて～福井県坂井市三国町における漂着ゴミの調査結果から～：資料2

小沼 信之 (環境省地球環境局環境保全対策課係長)

【質疑】

- 1) 漂着ゴミ問題だけでなく、様々な環境問題がクローズアップされているが、子供たちに対してどのような教育をしていくべきか、国や県の取組みが市議会レベルまで伝わらないので、情報がほしい。

環境教育については、ゴミ問題に限らず、温暖化問題や省エネ問題も含め、文科省と連携し取組みを進めている。本モデル調査では、一部の地域において中学生に海岸清掃を通じた環境教育に参加してもらうなど、普及啓発も行っている。今後も活動を広げていく。

5. みくにの海から SOS：資料-3

阪本 周一 (エコネイチャー・彩みくに会長)

【質疑】(特になし)

6. ドラゴンリバー交流会の活動：資料-4

有塚 達郎 (NPO 法人ドラゴンリバー交流会理事長)

【質疑】(特になし)

7. 九頭竜川への取り組み：資料-5

多田 輝雄 ((社)勝山青年会議所理事長)

【質疑】

- 1) 自分のところだけのゴミを始末するだけでなく、上・中流から下流まで連携して活動するというのが望ましいのではないか。

青年会議所は県内に10ヶ所の団体がある。シニアのクラブも含め連携できる機会をつくっていきたい。

8. 足羽川水源地に生きる民として：資料-6（エコポイントについて追加説明）
堀口 岩男（まちおこし21前代表）

【質疑】（特になし）

9. 最上川流域におけるゴミ問題への取り組み：資料-7
平野 沢果（美しい山形・最上川フォーラム事務局）

【質疑】

- 1) そもそもゴミが出なければこのような問題は起こらない。発生抑制についてはどのように考えているか。
発生抑制については今後の課題である。クリーンアップキャンペーンの広報や、研修会によりゴミの現状を認識させる、という活動をしている。
レジ袋が多いという調査結果を踏まえた活動により、山形県ではレジ袋の有料化とマイバッグ持参運動が普及してきたということである。

10. 九頭竜川における漂流・漂着ゴミ問題への取り組みについて：資料-8
玉置 文志（近畿地方整備局福井河川国道事務所副所長）

【質疑】（特になし）

11. 福井県の漂着ゴミ対策：資料-9
城越 芳博（福井県安全環境部企画幹）

【質疑】

- 1) 漂着物の支援事業は県内の海岸線に対して予算が不足していると思う。ボランティアによって回収されたゴミを処理するための費用についてどのように考えているか。
費用については、地域の方々と協力し意識啓発運動を兼ねて回収されたゴミの運搬費用として利用する。また、大きな木材などは新たな予算要求をする。さらに大規模な災害時には国の災害補助金で対応する、という3段階に分けた考え方をしている。

12. 全体討議・まとめ

・討議テーマの紹介：事務局よりテーマ紹介

1. 河川や海岸の各所で行われている清掃活動を、どのように流域全体に広げて／つなげていくのか
2. ゴミの発生を減らすための取り組み・啓発活動を効果的に進めていくには、どのようにすればよいか
3. 活動団体、住民、行政、企業、学校間の連携、また流域全体での連携を、どのように深めていけばよいか

・「海ゴミプラットフォーム」の紹介（JEAN/クリーンアップ全国事務局 小島あずさ）
資料-11

・全体討議（進行：エコネイチャー・彩みくに 阪本）

- 1) 川の上流から海までのネットワークをつくり、発生抑制や情報交換などを行い、ゴミを減らすための活動に取り組む、という構想を考えている。自身は下流部を中心に活動しているが、堤外部の水田および畑には、すでに何十年とゴミが捨てられているような場所があ

- る。悪循環をとめなければならない。
- 2) 川守制度に興味を持った。川守として川を巡視する制度を設けたらどうか。たとえば駐車違反の取締り制度のように、制服や腕章などをつけ、ある程度の権限をもって巡視すればより効果的なのではないか。
 - 3) ゴミの処分には苦勞するので、期間を限定して回収者による現地焼却（野焼き）ができるような制度ができれば、それほど行政に頼らなくても処分できる。
 - 4) 各種団体、住民、行政、企業、学校等の連携がとれないか。当団体では現在、各企業から協賛を得てクリーンアップ事業を行っている。協賛企業にはクリーンアップに参加してもらおうか、協賛金という形で協力してもらっている。そして、行政には回収したゴミの処理と広報活動をしてもらう、という連携をとっている。このつながりを今後拓げるために、協力いただいた企業などに、行政から何か特典を付加するようにしたらどうか。
 - 5) 子供たちに対して学校を基盤とした環境教育も必要である。地域住民も一緒になってできるような活動を広められたら良い。
 - 6) 現代のような社会では、今まで役場が行っていたような公的サービスも自立して行えないので、地域で肩代わりしていくしかない。そのためにも地域のリーダーを育成し、彼らの活動を支援することが必要ではないか。
 - 7) 九頭竜川流域にはたくさんの市町があるので、関係団体の方々以外にも官公庁同士での連携が必要である。共通の認識を持ち、お互いに情報を提供して連携していくことが必要である。
 - 8) 本日の視察のように、環境教育の一環として実際に汚れているところを見せ、ゴミを捨てたらいけない、という意識を早い段階で（小さい年齢のうちに）持たせるべきである。
 - 9) 多くの農村部では、地元の堤防を、草が伸びてくると自分たちで刈り、田の肥料や牛馬の餌にして、守ってきている。一方で、草の生えている場所には不法投棄が絶えず、子供たちが近づかなくなり、ますます川への関心が薄れてしまう、ということがある。県では川守活動の他に、河川付近の企業へ活動に参加してもらえよう呼びかけをしている。今後もHPなどで紹介しながら活動の継続を図りたい。
 - 10) 現在 CO2 の排出抑制などで世界的に企業の責任が問われているが、例えばペットボトルに対しての企業責任が今後は求められるのではないか。電化製品のリサイクルに倣い、プラスチックの処分等について、生産者としてどうするのか、ということをはっきりさせるべきではないか。
 - 11) 消費段階、すなわち分別処理においては、各団体、市町村、企業などで対応をとっているが、今後は上流から下流まで統一した考え方や方法で取り組むことが必要だと思う。
 - 12) 漂着ゴミは日本製品以外にも海外由来のものも多くある。それらのゴミ処理について管理責任が明確になっていないことも、処理方法などがうまく進まないことの原因になっているのではないか。管理責任の明確化、あるいはそれに対する補助制度の統一化をお願いしたい。
 - 13) 不法投棄については、河川管理としてなかなか得策がない。捨てられるものはタイヤなど、処分費用がかかるものが多い傾向にあるので、デポジット制度など、この場だけの話ではなく国策として動く必要があるのではないか。
 - 14) 河川国道事務所と県の河川課で協力して、九頭竜川文化交流という名称で活動する土台はできている。しかし、実際に活動をする段階になるとなかなか具体的には計画が進まない。連携という言葉はよく出るが、具体策がなく抽象的な言葉として終わっているのが実態である。

- 15) 発生抑制について、発生源をどのように押さえるかという点が重要である。不法投棄、管理不十分ということに加え、ゴミの種類も国内外のもの、生活系、産業系のものと様々であり、それぞれ対策が違ってくるので、地域ごとにどこに重点をおき、何をすべきかを考えなければならない。また、一方では流れてくるものをどう処理するかが大きな問題であるが、海岸により管理者も違えばしくみも違っていて、なかなか連携がとれない。中央レベル、地方レベルでさらに連携を深めていかなければならない。
- 16) 管理のあり方について、海岸管理者や市町村の役割、または企業の責任についても議論する必要があるが、やはり一番大事なのは捨てる人の責任、ということでないか。その対策は啓発だけではないので、今後詰めていかなければならない。
- 17) 関係各所の連携を図るということについては、広報活動というのが唯一確実な手段ではないか。本日の映像資料など、流域の方々がどれくらい苦労しているかということについて、具体的な情報を使って、理解を深めていく必要がある。
- 18) 午前中の視察で、河川敷の畑から野菜くずや肥料袋を捨てている現状を見て、最上川と同じような光景だと思った。ゴミ問題というのは、ゴミがあるマイナスの状態からスタートして、ゴミがないゼロの状態になったら終わりという意識があったが、このワークショップに参加して、人の交流が増えて、楽しく人がよりよく暮らしていく方向に、どこまでも進んでいける可能性があると感じた。
- 19) 連携という言葉は簡単だが、具体的にどうすればいいのか、というのが難しいので、すぐに実行できるような提案をする。ひとつはネットワークというのは名簿を作れば終わり、というのではなく、手を入れて面倒をみることをメンバー全員で行う必要があるので、まずその点を相談することが大事である。もうひとつは、統一的な活動、というのは発想としてよくあるが、何かを一緒にしようすると、調整だけで計画倒れになってしまう。無理に統一することよりも、各団体がいつどこで何をしているか、というアクションカレンダーを作り、それを行政が共有情報として管理してはどうか。そうすれば他の団体の活動にも参加しやすくなり、結果、合同で活動したということにつながるのではないか。
- 20) 河口の農地から出るゴミについては、すぐ水に流され目の前から見えなくなるので、何となく知らないふりをしているのではないか。犯人探しではなく、自分たちの川の現状を関係者が一緒にまず見る、というところから始めたらどうか。

【自由討論】

- 1) リーダーシップをとる立場にある人は率先垂範が大切である。トップ自らが現場に参加すると、その率先垂範の気持ちが広く伝わるのではないか。
- 2) 海岸や川はそれぞれ誰が管理し、責任を持つのか明確にしてほしい。
海岸のゴミを処理するのは、公物としての海岸維持管理の一環として海岸管理者が行うことになっており、法律上、清潔を維持する責務がある、となっている。しかし、漂流・漂着ゴミについては責任の所在を明確にした条文はなく、他の条文を援用して考えると、海岸管理者にはその責任がある、ということが関係省庁間で一致した認識である。問題は、海岸により管理者が異なっていたり、一部市町村に委任されていたり、などとても複雑なことになっていることである。財源の手当ても問題である。今後うまく機能するにはどうすればよいか引き続き議論の必要がある。
- 3) 1970年から国内清掃美化運動というのがあったが、それから40年近くたってもまだ責任者が決まっていない。いまだに体制が変わらないことに地域住民は怒りのほうが先にくるのではないか。連携を確実にするのはやはり国の仕事だと考える。

- 4) 本日の議論を踏まえると、一番大切なのは連携そのものではなく、連携して「活動していくこと」だと考える。そのためにも今回のワークショップをきっかけに今後定例会などを開き、具体的な議論ができることを希望する。

・宣言の採択

本ワークショップのまとめとして以下の宣言文が阪本会長から提案され、満場の拍手により全会一致で採択された。

九頭竜川流域ごみ問題ワークショップ宣言

私たちは、河川ごみ・海ごみを減らして、美しい九頭竜川水系および福井の海を未来に引き継ぐために、清掃活動や発生抑制に向けて、連携と協働して継続的な活動を進めていきます。

最後に、福井県安全環境部 城越氏よりご挨拶いただき、閉会とした。

以 上

3.2 最上川フォーラムヒアリング結果

ワークショップ開催に先立ち、最上川フォーラムへヒアリングを行った。その概要を以下に示す。

日時：2008年10月7日 16:30～19:00

相手：美しい山形・最上川フォーラム

事務局長 伊藤 憲昭 氏

事務局員 平野 沢果 氏

設立の経緯

- 美しい山形を作ろう、そのための運動を最上川をKWとして活性化しようというのがフォーラムの目的である。
- 山形県民にとって、最上川は県民歌にとりあげられるような存在であり、県民や行政に最上川をきれいにしたいという共通認識がある。
- もともとは日本銀行山形支店に赴任してきた宮坂氏が発案者である。宮坂氏はその後東京に異動となり、最上川フォーラムと同じような組織である多摩川フォーラムの設立に関わっている。
- 県のプロジェクトとして指定され進められた経緯があり、どちらかという県主導で進められたと言える。
- 当初は県庁内に事務局を置き、専任3名、兼任2名のスタッフがいたが、知事が変わり自立化の方針のもと、2007年4月に山形大学内に移した。現在のスタッフは理事長（兼任）と事務局員（専任）1名。
- 同時に4つあった部会を2部会に統合し、地域部会を強化することとした（村山、最上、置賜、庄内の4地域部会）。

協働・連携

- 会員は約5000人であり、個人会員は県職員や銀行の人が多い。

- 銀行OBの人が積極的に参加しており、リタイアされた方の自己実現の場にもなっている。
- 流域の関連団体は個人会員もしくは団体会員として参加しているが、軒並み加入しているわけではない。
- 学校の先生が会員になっており、生徒を連れて水質調査やクリーンアップ活動に参加している。総合学習の時間では小学4年生は自然を調べることになっている。
- 企業がCSRの一環として活動を実施している。
- ゆるやかな連携の形をとっており、会員から意見をいろいろと出してもらった上で、最終的に会長、部会長が決定している。最後はそうしないと話がまとまらない。
- 会合や活動の場に参加する会員だけでなく、会費を払ってくれる会員もあってこそ活動が成り立っている。

行政の関与

- 県から補助金（345万円）と会費（40万円）を得ている。県がこのような事業を直接やるよりも低費用だと思う。
- 流域の3つの河川国道事務所が全面バックアップしてくれており、山形河川国道事務所がリーダーシップをとって熱心に活動している。
- 流域の35市町村のうち20が会員となっており、処理費用を負担してくれている。
- クリーンアップ活動では、県環境部の循環型社会推進課が、ゴミ処理の減免をまとめている。
- 土木部河川砂防課とは桜の植林で連携している。
- 水環境発表会の際には、河川砂防課、環境科学研究センター、総合支庁の環境課の参加もある。
- 国交省や県、市町村の協力がないとこのような活動はなかなか難しい。フォーラムの会長（山形大学副学長、専門は地域経済）が県の公共事業評価の委員長をやっていることもあり、行政には太いパイプがある。

運営資金

- 県からの補助金がどんどん減らされてきている。現在の予算は県の補助金が全体の1/3~1/4、その他は会員からの会費収入と企業からの寄付（特定の活動を対象としたものが多い）からなる。
- 寄付先を選択できる県と市の制度ができた。税制上の優遇があり、個人でも寄付可能。
- 定期預金で一定の利息分を最上川フォーラムに寄付する商品がある。
- 銀行の協力により、手数料無料で会費の自動引き落としができる。
- 昨年度までは一人あたり100円の寄付を組み込んだJTBのツアー商品があり、200万円/年の収入があった。

運営・活動上の課題

- 資金不足が最大の課題である。
- 部会長とは常時連絡をとっており、会合も頻繁に行っている。
- 全県レベルの会議では話がまとまりきらないことがある。海の人と川の人とで関心が異なるためである。このため、地域部会での会議にシフトさせている。

美しいやまがたの海プラットフォームとの関係は？

- 海のプラットフォームは、今年からプロジェクト事務局が発足し、パートナーシップオフィスと東北公益文化大学に置かれている。最上川フォーラムは実行委員会に入っており、上流域での広報を担当している。
- パートナーシップオフィス、最上川フォーラム、河川国道事務所で、川ゴミと海ゴミの話をつなげようと検討している。

クリーンアップキャンペーンについて

- クリーンアップキャンペーンの一番の目的は河川の美化である。参加グループごとに、実施場所の範囲を決めて、1～1.5時間程度の清掃活動を行う。これは同時に啓発活動の一環としても実施している。
- クリーンアップキャンペーンは、一定の期間（約3ヶ月）のなかで、グループ単位で都合のよい日時に実施するという方法をとっており、参加しやすい。約1000人の参加がある。
- 事前に実施日と場所を登録してもらう。事務局から実施マニュアルを送付し、クリーンアップの実施後、データとアンケート用紙を記入して送り返してもらう。その後、保険料の補助を支払う。
- 参加グループの中には、毎月河川の清掃活動をしており、活動期間の月だけはそれに参加というところもある。
- 山形では秋になると芋煮会を河原で実施することが恒例行事となっており、クリーンアップの後に芋煮会を行って実施したりしている。
- データはJEAN/クリーンアップ全国事務局にまとめて報告している。
- 厳密なデータ解析はフォーラムでは行っていない。同一の日にとられたデータでないので厳密なデータ解析はできないが。
- 今年はキャプテン講習の前段として、庄内海岸クリーンアップに参加した。
- ダイオキシン特措法の施行に伴い野焼きができなくなったことを受け、農業の肥料袋やビニールハウスのゴミが増えた。
- 舟下り観光業者が関心を高めている。
- クリーンアップ活動にあわせて河川にゴミを捨てる人はいない。

ゴミ発生抑制に関する取り組み

- 調査の結果、コンビニ袋が多いことが明らかとなった。文化・地域交流部会に県内最大手スーパーが参加しており、県とフォーラムの後押しを受け、レジ袋の有料化が進んだ。
- 不法投棄については、国交省の連絡先を知らせて、直接に通報してもらっている。

その他

- 流域連携の事例として、京都でNPO法人プロジェクト保津川という団体が立ち上がり、船頭さん達がゴミを拾っていると聞いたことがある。
- ゴミ問題だけで流域の連携を進めるのは少し難しいかもしれない。

以上